

## トレーサビリティ・システムの確立

ユビキタス・コンピューティング技術を活用した「食の安全・安心システム」の開発を行うとともに、牛トレーサビリティ制度の信頼性を確保。

**2,051(2,125)百万円**

### 1 ポイント

#### (1) ユビキタス食の安全・安心システムの開発

**1,295(1,300)百万円**

電子タグの普及等により、いつでも、どこでも、誰でも簡単にコンピュータが使える「ユビキタス・コンピューティング」技術が目覚ましい進歩を遂げる中、こうした最先端の情報処理技術を活用して情報の記録等の自動化・簡便化を進め、リスク管理への活用や生産・流通の効率化、消費者に伝える各種情報の充実を図ることが可能となる「食の安全・安心システム」を開発することにより、トレーサビリティ・システムの普及を促進。

#### (2) 牛トレーサビリティ制度の信頼性の確保

不適切な届出の精査とそのシステム化へ向けた検討 **39(0)百万円**

牛トレーサビリティ制度の適正な運用の監視 **716(825)百万円**

違反事例の発生も踏まえ、制度の信頼性を確保するため、地方農政事務所では発見が難しい不適切な届出や修正依頼等を（独）家畜改良センターで精査し、管轄する地方農政事務所へ連絡する取組を実施するとともに、精査の結果も踏まえ、不適切な届出の検索機能の強化や、管理者からの届出のタイムラグによるエラーの低減も可能な新システムの開発を検討。

また、牛の管理者等に対する地方農政事務所の調査、流通段階における個体識別番号の適正な伝達を確認するためのと畜場及び販売店等で採取した牛肉のDNAの同一性鑑定を引き続き実施。

### 2 事業実施主体

#### (1) 民間団体

#### (2) 国、民間団体等

### 3 補助率

#### (1) 定額

〔担当窓口課：消費・安全局消費・安全政策課(03-3591-4963(直))  
消費・安全局畜水産安全管理課(03-3502-8206(直))〕